

人民元週間レポート

2024年3月29日発行

みずほ銀行（中国）有限公司
中国為替資金部

Private and confidential

MIZUHO

瑞穗銀行

【人民元為替概況】

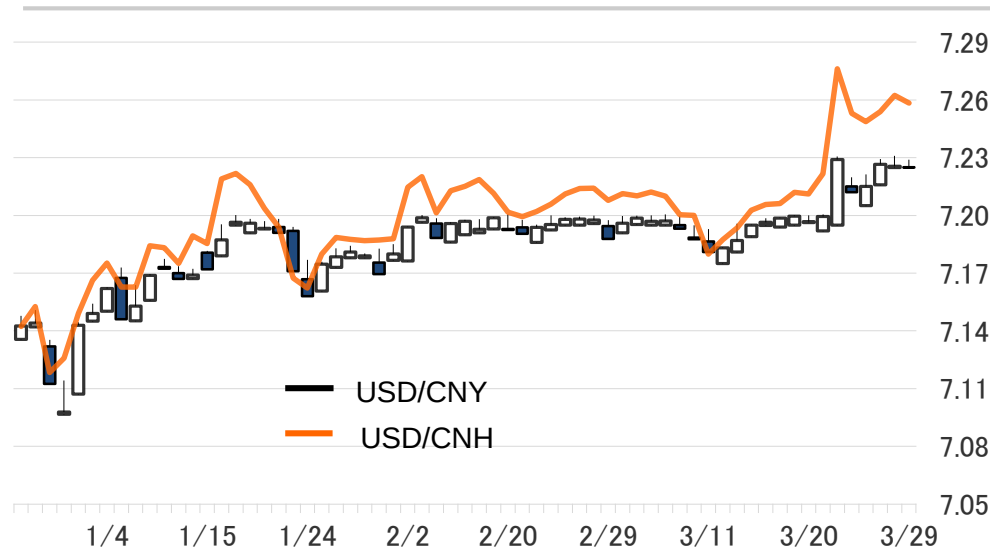
回顧: USDCNYは一時7.23台まで上昇

- ドル人民元(USDCNY)は25日、7.21台半ばでオープン。前週末22日には節目の7.20を突破し、7.23近辺まで元安が進行していたことで注目されていた25日のPBOC基準値が、継続して元高水準での設定となったことからUSDCNY相場は反落してスタート。オープン直後に7.19台半ばまで急落したものの、一巡後は7.21台まで水準を回復。その後、週後半にかけては堅調な米経済指標やFRB高官のタカ派発言を受けドルが強含む展開となったことで、USDCNYも上昇圧力が高まり28日には一時7.23台まで上伸し年初来高値を更新。29日午前中は7.22台後半の推移となった。
- 円人民元(JPYCNY)は25日、4.76台半ばでオープン。27日、USDJPYが151.97円を付けて1990年以来の水準まで上昇したタイミングではJPYCNYも4.75台後半まで下落した。29日午前中は4.77台を推移。

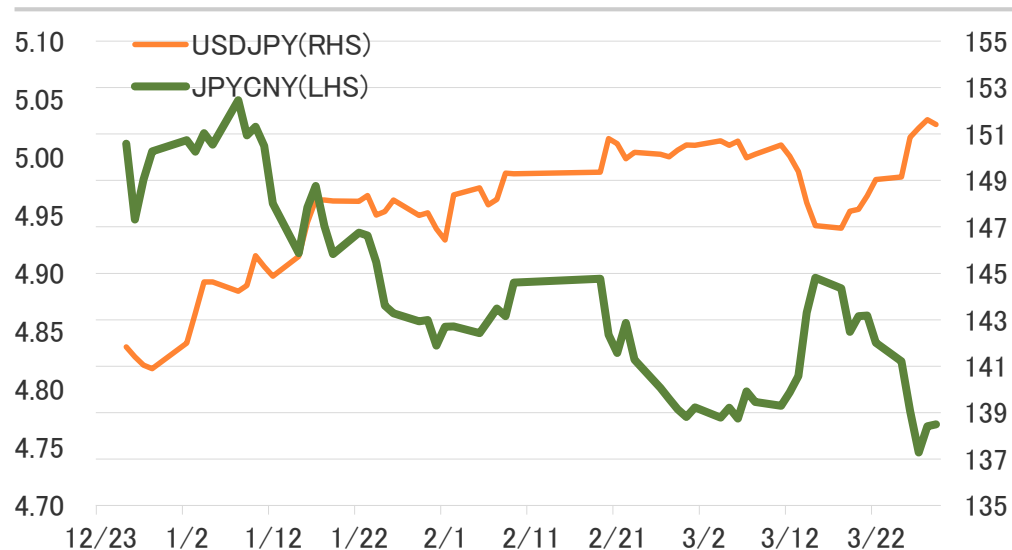
見通し: USDCNYの上値を試す展開に留意

- FRBの利下げ時期後ずれに対する思惑により、ドルは主要通貨に対して堅調に推移しており、USDCNYも高値圏での推移が継続すると想定する。USDCNYは年初来意識されていた7.20の節目を突破して推移する一方、PBOC基準値は7.09台での設定となっており、値幅上限の7.23台が現状の上値の目途と考える。経済データ次第ではあるものの、狭いレンジでの推移がメインシナリオと予想。
- 4月に入り中国PMIや米雇用統計を始めとする経済統計の発表が控える一方、清明節によるUSDCNY市場休場も予定されており、清明節明けのギャップオープンには警戒しておきたい。

USD/CNY, USD/CNH Spot Rate



JPY/CNY, USD/JPY Spot Rate



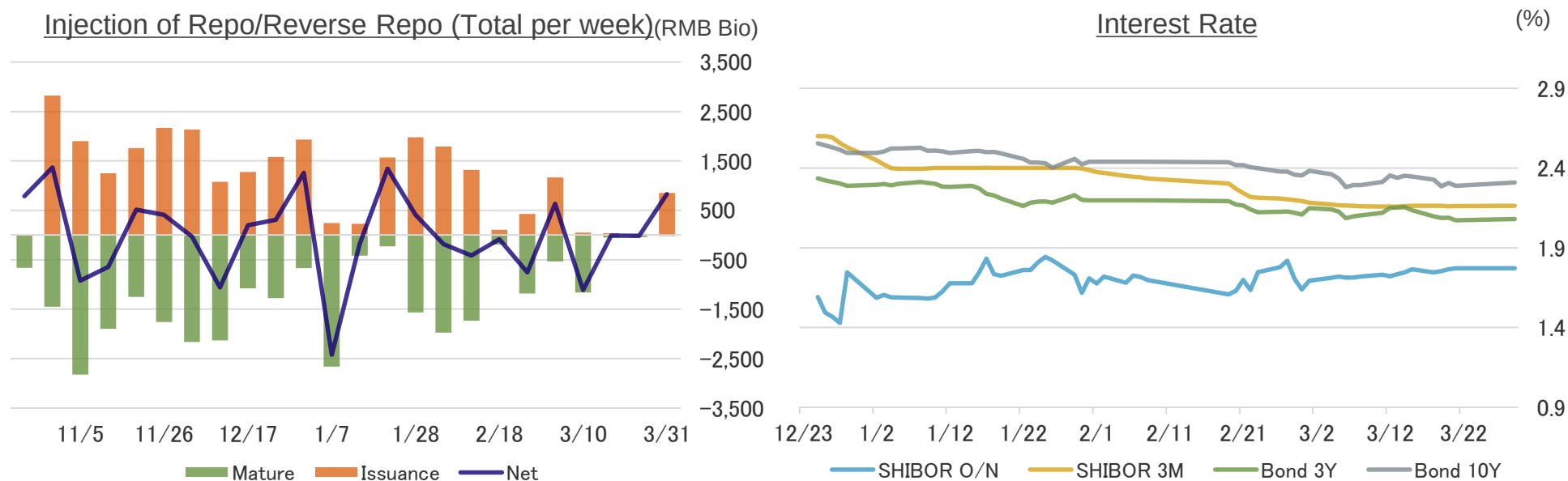
【人民元金利概況】

回顧: 月末を控えPBOCは大口資金供給を実施

- 中国人民銀行(PBOC)は、7日物リバースレポにより、8,500億元の資金供給を実施。満期到来分とネットでは8,280億元の資金供給となった。
- 資金市場は、四半期末や清明節の資金繰りが意識され、1W、2Wで金利上昇。
- 債券市場は金融緩和観測が燦る中、小幅に利回り低下。

見通し: 政策動向等に留意

- 引き続き、全国人民代表大会で示された方針に基づいた具体的な経済刺激策の発表には注目したい。
- また、債券市場では特別国債発行等による一時的な需給悪化が懸念されており、発行スケジュール等に要留意。他方、一部市場参加者の中では中銀による国債買い入れを期待する向きもあり、金融政策動向にも注目致したい。



【TOPICS】 日銀金融政策決定会合でマイナス金利解除を決定

- 日本銀行(日銀)は、3月18日、19日の金融政策決定会合において、マイナス金利政策の解除とイールドカーブコントロール、オーバーシュート型コミットメントの撤廃を決定した。
- 植田総裁は記者会見で、“予想物価上昇率の観点から見ると、まだ2%には多少距離があるため、金融政策を行う上で緩やかな環境を維持することが大事”との認識を示しており、先行きについてハト派トーンを出した格好。ドル円は27日、1990年以来の円安水準である151.97円を付けた。
- 今後も緩やかな政策を維持する場合、円人民元についても現状の円安人民元高水準が継続する可能性が高く、動向には注目したい。

従前：日銀の主な金融政策抜粋

長短金利操作(イールドカーブコントロール)→撤廃

短期金利：日銀当座預金▲0.1% (政策金利残高に対し)
長期金利：10年物国債金利がゼロ%程度で推移するよう、上限を設けず必要な国債買い入れ実施
長短金利操作の運用：長期金利の上限は1.0%を目途とし、上記の金融市場調節方針と整合的なイールドカーブの形成を促すため、大規模な国債買い入れを継続するとともに、各年限において、機動的に、買入れ額の増額や指値オペ、共通担保資金供給オペなどを実施。

資産買い入れ方針

ETF：12兆円/年の残高増加ペースを上限に購入
J-REIT：1800億/年の残高増加ペースを上限に購入
CP・社債等：感染症拡大前と同程度のペースで買い入れを行い、買入れ残高を感染症拡大前の水準へと徐々に戻していく(CP等：残高約2兆円、社債等：残高約3兆円)

フォワードガイダンス

日本銀行は、内外の経済や金融市場を巡る不確実性がきわめて高い中、経済・物価・金融情勢に応じて機動的に対応しつつ、粘り強く金融緩和を継続していくことで、賃金の上昇を伴う形で、2%の「物価安定の目標」を持続的・安定的に実現することを目指していく。
「物価安定の目標」の実現を目指し、これを安定的に持続するために必要な時点まで、「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続する。マネタリーベースについては、消費者物価指数(除く生鮮食品)の前年比上昇率の実績値が安定的に2%を超えるまで、拡大方針を継続する。引き続き企業等の資金繰りと金融市場の安定維持に努めるとともに、必要があれば、躊躇なく追加的な金融緩和措置を講じる。

3/19発表：日銀の主な金融政策抜粋

金融市場調整方針

無担保コールレート(オーバーナイト物)を、0～0.1%程度で推移するよう促す
日本銀行当座預金(所要準備額相当部分を除く)に0.1%の付利金利を適用。

資産買い入れ方針

これまでと同程度の金額で長期国債の買い入れを継続する。長期金利が急激に上昇する場合には、毎月の買入れ予定額にかかわらず、機動的に、買入れ額の増額や指値オペ、共通担保資金供給オペなどを実施する。
※足もとの長期国債の月間買入れ額は、6兆円程度

ETFおよびJ-REITについて、新規の買い入れを終了する。
CP等および社債等について、買入れ額を段階的に減額し、1年後をめどに買い入れを終了する。

フォワードガイダンス

日本銀行は、引き続き2%の「物価安定の目標」のもとで、その持続的・安定的な実現という観点から、短期金利の操作を主たる政策手段として、経済・物価・金融情勢に応じて適切に金融政策を運営する。現時点の経済・物価見通しを前提にすれば、当面、緩やかな金融環境が継続すると考えている

【マーケットデータ】

【USDCNY Daily】

DATE	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE	PBOC FIXING
3/25	7.2150	7.2195	7.1902	7.2084	7.0996
3/26	7.2050	7.2210	7.2037	7.2194	7.0943
3/27	7.2158	7.2290	7.2158	7.2284	7.0946
3/28	7.2249	7.2307	7.2215	7.2277	7.0948
3/29	7.2251	7.2286	7.2201	7.2232	7.0950

【USDCNH Daily (Reference value from Bloomberg)】

DATE	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE	Fixing*
3/25	7.2754	7.2820	7.2325	7.2531	7.2352
3/26	7.2531	7.2543	7.2377	7.2487	7.2465
3/27	7.2487	7.2605	7.2464	7.2539	7.2571
3/28	7.2539	7.2674	7.2441	7.2623	7.2519
3/29	7.2623	7.2643	7.2542	7.2573	-

*CNH (HK) Fixing published at 11:15 A.M. by Hong Kong Treasury Markets Association

【SHIBOR FIXING(%)】

	3/25	LOW	HIGH	3/29
ON	1.7740	1.7130	~	1.7180
1M	2.1350	2.0860	~	2.1400
3M	2.1590	2.1560	~	2.1560
6M	2.2060	2.2030	~	2.2030
1Y	2.2660	2.2570	~	2.2680

【CNY MARKET Weekly】

	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE
USD/CNY	7.2150	7.2307	7.1709	7.2232
100JPY/CNY	4.7649	4.9044	4.7458	4.7735
EUR/CNY	7.7972	7.8799	7.7783	7.7818
HKD/CNY	0.92035	0.92474	0.91693	0.92307
GBP/CNY	9.0928	9.2472	9.0796	9.1187

【MAJOR CURRENCY Weekly (Reference value from Bloomberg)】

	OPEN(TKY6:00)	HIGH	LOW	Thursday CLOSE
USD/JPY	151.36	151.97	146.49	151.38
EUR/USD	1.0809	1.0981	1.0768	1.0789
EUR/JPY	163.60	165.35	160.22	163.27
GBP/USD	1.2603	1.2894	1.2575	1.2624
AUD/USD	0.6516	0.6668	0.6485	0.6516

Bloombergより当行作成

ご留意事項

・本資料に関するご照会先

- 当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。
- ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。
- 投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。
- また、当資料の著作権はみずほ銀行及びみずほ銀行（中国）に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。
- 本資料中の括弧書きで引用された出所元の文または文章の内容に含まれるまたは解釈される可能性のある意見や論評は、括弧書きの末尾に記載の出所元の意見や論評であり、当行の意見や論評を表明するものではありません。

本資料に関するご照会先：
みずほ銀行（中国）有限公司 中国為替資金部 カスタマーチーム
(Tel:86-21-3855-8888 Ex:1320～1329 & 1371～1378)

Private and confidential

MIZUHO

瑞穂銀行